

第1節 1人1日当たりのごみ排出量 (p84)

項目 \ 年度		実績値		目標値	達成状況
		H26	H30	R2	
1人1日当たりのごみ排出量		996g/人・日	951g/人・日	980g/人・日	達成
内訳	家庭系ごみ	643g/人・日	590g/人・日	632g/人・日	達成
	集団回収	12g/人・日	8g/人・日	11g/人・日	達成
	事業系ごみ	341g/人・日	353g/人・日	337g/人・日	未達成

- ▶ 1人1日当たりのごみ排出量については目標を大きく達成しています。しかし、内訳を見ると、家庭系ごみと集団回収については目標を達成しているものの、事業系ごみについては未達成となっていることがわかります。

(g/人・日)

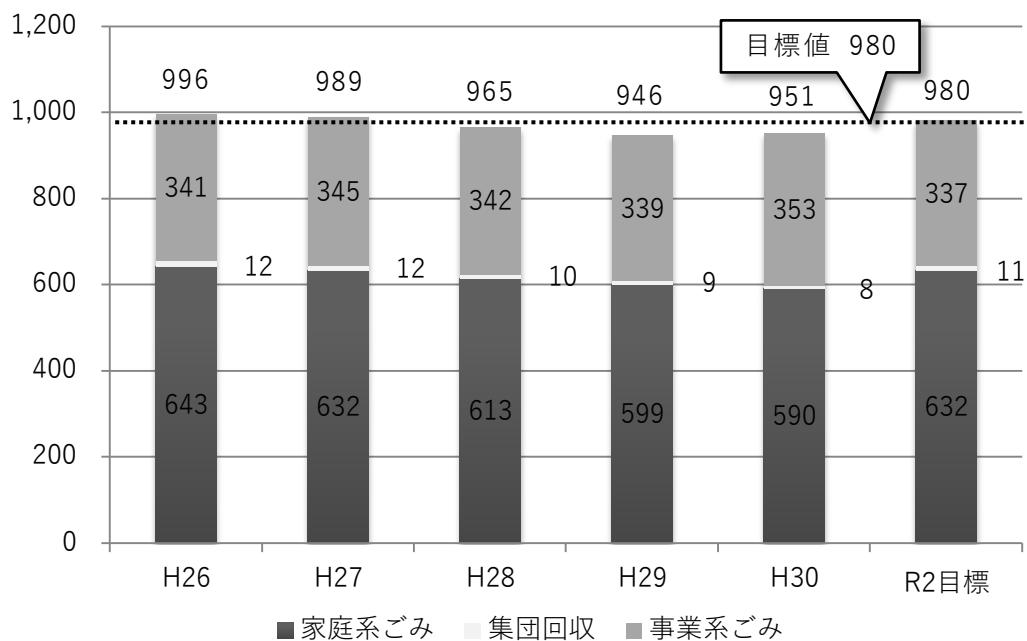


図 2-1 1人1日当たりのごみ排出量推移

▶ 家庭系ごみについて

家庭系ごみのうち、目標値に対して大きく減少しているのは、可燃ごみと古紙類です。可燃ごみについては、生ごみの水切りの徹底や分別の徹底が浸透してきている結果と考えられます。一方、古紙類については、流通量の減少や、民間の資源引取拠点の増加等に伴い、排出量が大きく減少しているものと考えられます。

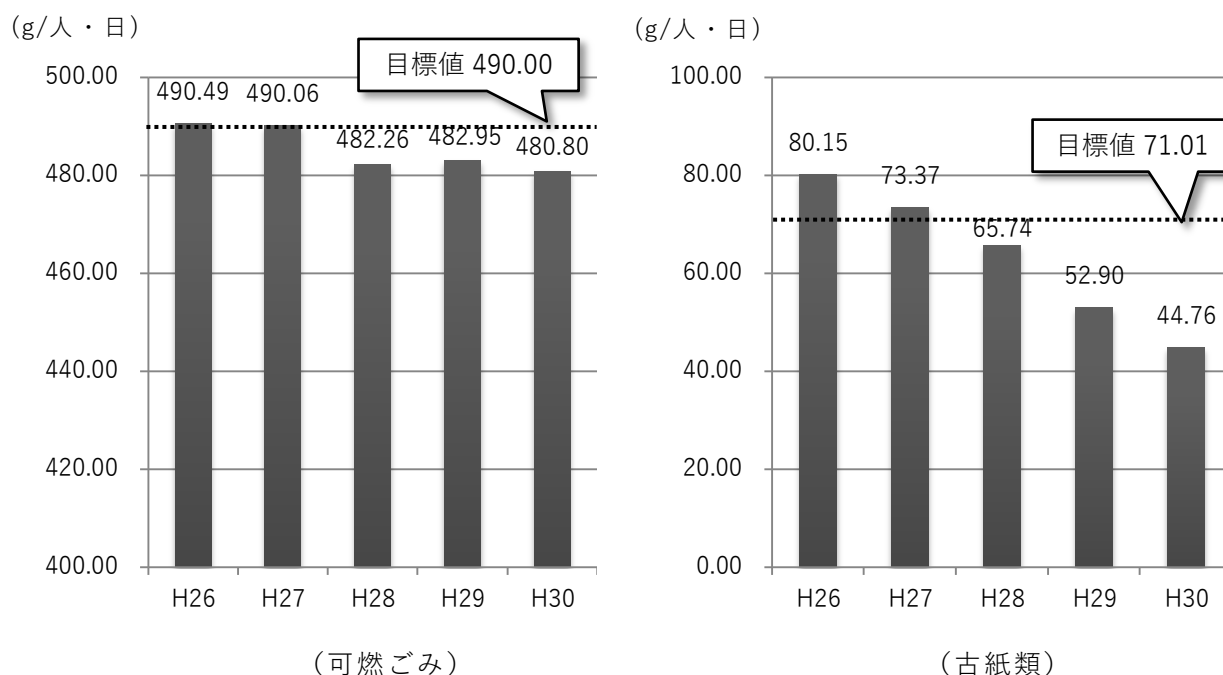


図 2-2 1人1日当たりの家庭系ごみ排出量推移

▶ 集団回収について

本市が資源ごみ回収運動推進事業奨励金を交付している団体数は、減少傾向にあります。

また、資源ごみ回収の回収量のうち約 95%を占める古紙類の回収量も減っており、家庭系ごみ同様、流通量の減少や、民間の資源引取拠点の増加が影響していると考えられます。

表 2-1 資源ごみ回収運動推進事業奨励金交付団体数

年度 項目	H26	H27	H28	H29	H30
交付団体数	74	74	73	70	67

▶ 事業系ごみについて

事業系ごみについては、可燃ごみの減少が進まず増加していることから目標値が未達成となっています。事業所から排出される紙類のほか、紙おむつの排出量が増えていることが原因と考えられます。

表 2-2 1人1日当たりのごみ排出量内訳

(単位：g/人・日)

年度 項目			H26	H27	H28	H29	H30	R2 目標		
家庭系	可燃ごみ		490.49	490.06	482.26	482.95	480.80	490.00		
	不燃ごみ		35.16	32.12	29.79	28.80	30.18	35.16		
	不燃性粗大ごみ		7.89	7.90	7.53	7.51	7.90	7.89		
	資源物	白色発泡スチロール・トレー		0.90	0.86	0.79	0.76	0.75	0.83	
		缶・ビン類		21.69	21.05	20.36	19.68	18.91	21.10	
		ペットボトル		4.51	4.50	4.67	4.82	5.13	4.42	
		牛乳パック		0.59	0.55	0.52	0.48	0.48	0.56	
		再利用ビン		0.08	0.06	0.05	0.04	0.05	0.04	
		古紙類	新聞・チラシ		40.56	36.82	32.88	26.56	22.34	33.56
			本・雑誌・雑がみ		24.68	22.41	19.76	15.34	12.94	23.21
			ダンボール		14.54	13.82	12.91	10.89	9.35	13.87
			クリーンセンター分		0.37	0.32	0.19	0.11	0.13	0.37
		小型家電		0.22	0.43	0.30	0.33	0.38	0.57	
	乾電池		0.55	0.74	0.55	0.74	0.63	0.61		
	蛍光管		0.28	0.21	0.38	0.23	0.27	0.26		
計		642.52	631.87	612.97	599.23	590.24	632.46			
集団回収	古紙類		11.47	11.63	9.93	8.14	7.39	10.35		
	空瓶類		0.08	0.10	0.07	0.05	0.04	0.05		
	空瓶ケース類		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	金属類		0.46	0.45	0.41	0.33	0.30	0.38		
	その他		0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00		
	計		12.01	12.19	10.42	8.52	7.73	10.78		
事業系	可燃ごみ		339.01	342.86	339.33	336.52	351.46	335.00		
	不燃ごみ		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	不燃性粗大ごみ		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	資源物	缶・ビン類		2.09	2.30	2.49	2.10	1.91	1.47	
		ペットボトル		0.10	0.08	0.08	0.09	0.09	0.09	
	計		341.21	345.23	341.90	338.71	353.46	336.56		
合計			995.74	989.29	965.29	946.46	951.44	979.80		

第2節 リサイクル率（p86）

項目 \ 年度	実績値		目標値	達成状況
	H26	H30	R2	
リサイクル率	17.7%	17.5%	17.7%	未達成

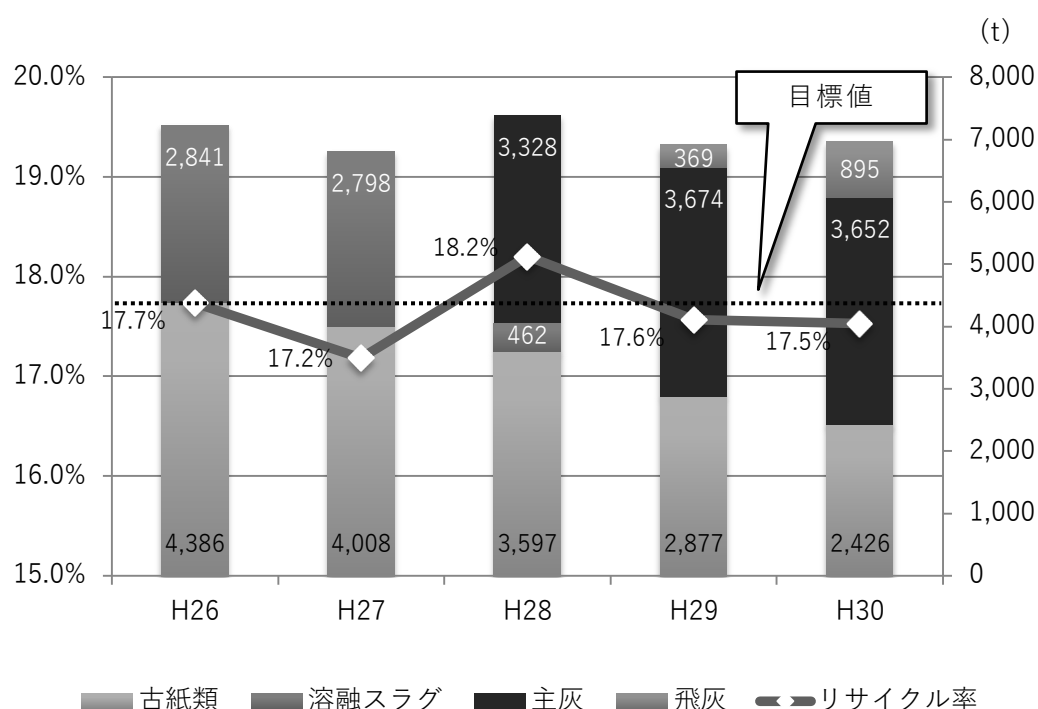


図 2-3 リサイクル率及び主な資源化物資源化量推移

▶ リサイクル率について

米子市クリーンセンターから発生する主灰・飛灰については、灰溶融設備が稼働していた平成 27 年度末までは溶融スラグ化していましたが、平成 28 年度からは外部委託によるセメント原料化を行っています。溶融スラグの資源化量に比べ、主灰・飛灰の資源化量が増えて見えるのは、処理方法の変更によるものです。

一方、古紙類については、平成 26 年度から平成 30 年度の間にほぼ半減しており、リサイクル率の低下につながっています。

第3節 最終処分率（p86）

項目 \ 年度	実績値		目標値	達成状況
	H26	H30	R2	
最終処分率	6.4%	4.7%	5.7%	達成

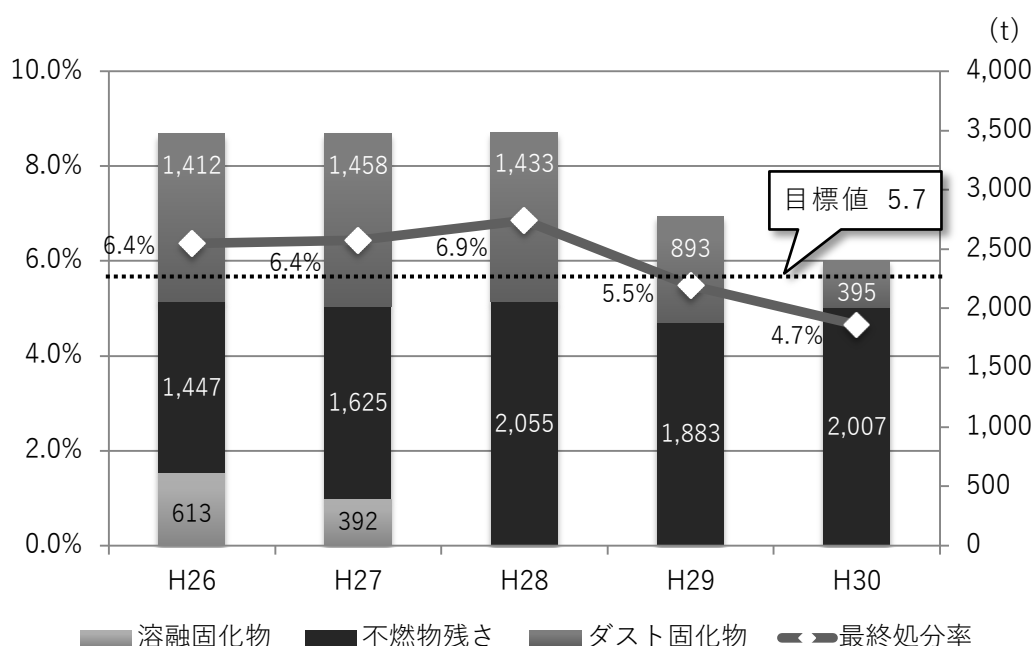


図 2-4 最終処分率及び主な最終処分物最終処分量推移

▶ 最終処分率について

図 2-4 のうち、溶融固化物及び不燃物残さは、鳥取県西部広域行政管理組合エコスラグセンター及びリサイクルプラザから発生する最終処分物です。平成 28 年 2 月のエコスラグセンター稼働停止に伴い、平成 28 年度以降、不燃物残さが増加した一方、溶融固化物が皆減しました。

一方、ダスト固化物は米子市クリーンセンターから発生する最終処分物ですが、灰溶融設備休止に伴い、溶融スラグの生成時に発生する残さが皆減したことから、最終処分量が減少し、最終処分率の減少につながりました。

第4節 可燃ごみ1トン当たりのエネルギー回収量（p87）

項目 \ 年度	実績値		目標値	達成状況
	H26	H30	R2	
可燃ごみ1トン当たりのエネルギー回収量	388kWh/t	420kWh/t	388kWh/t	達成

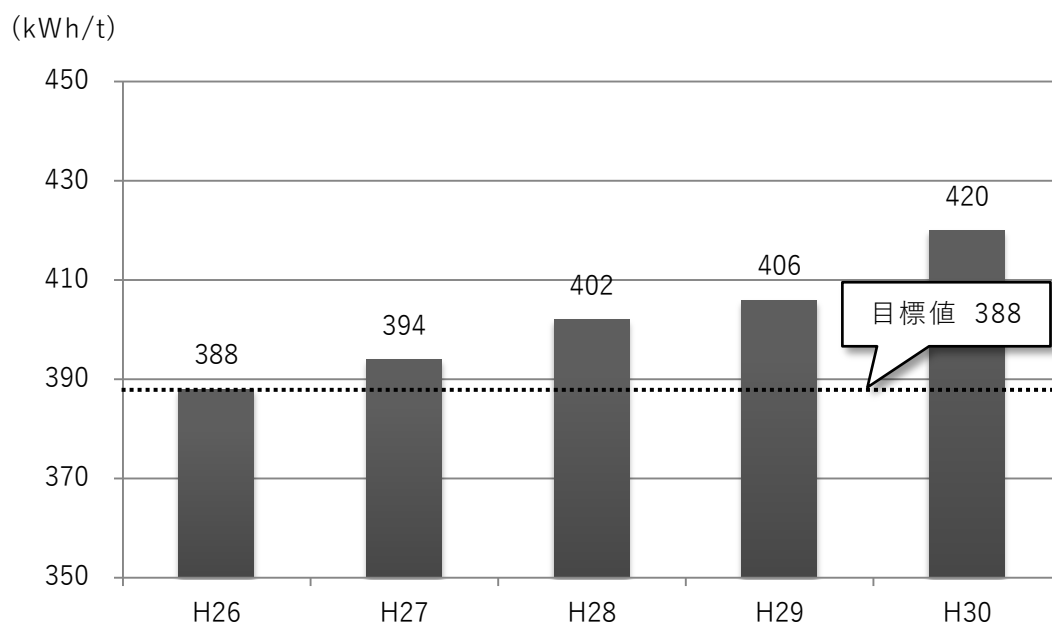


図 2-5 可燃ごみ1トン当たりのエネルギー回収量推移

▶ 可燃ごみ1トン当たりのエネルギー回収量について

可燃ごみ1トン当たりのエネルギー回収量は、クリーンセンターの発電電力量を可燃ごみ処理量（他市町村分も含む）で除したものです。平成28年度から境港市の可燃ごみの受け入れを開始したことで処理量が増え、運転効率が向上したことで発電電力量が増加しました。その結果、エネルギー回収量についても増加し、目標を達成しました。